

このたびの能登半島地震により被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ご け い た よ り
互恵便り 第35号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



元旦 大井獅子舞
写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

普通の毎日を大切に。良い一年になりますように！



元旦、夜中0時を過ぎてから富田神社で舞われた「浦安の舞」です。コロナ禍において祭りの神輿、奴、獅子が中止となったときにも、神事として「浦安の舞」だけは毎年続けられました。昼間の舞とは衣装も華やかさも違いますが、暗闇の背景から昇殿する姿が神々しく映りました。しかし、活気のある「祭り」とは違って、このような厳かな神事に参加する人は少なくなっているそうです。富田神社では、その年の実りを頂き、神様に感謝しつつお礼をさせていただく神事にも関心をもっていただければとの願いから、本装束を新調しました。令和3年元旦から、この薄緑色の新装束で「浦安の舞」が舞われています。

1、昼間に舞う巫女千早の衣装の上に3枚重ねた重い装束での本格的な舞です。経験と体力のある大人の方が舞う巫女憧れの舞いとなっています。



地域の皆さまに喜ばれる仕事に より一層、取り組んで参ります！



「石」と「草」の二本柱で 貢献して参ります

お陰様です。
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。昨年同様お客様の変わらぬご厚情をいただけるよう、社員一同頑張る所存でございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年から中谷石材は、世の中において常に変化する人々のニーズ、顧客の皆さまのご要望に因應べく全社でとり組んでいます。時代の大きなうねりのある波を乗り越えようと、社内一同が力を合わせて頑張ってくれています。

今までは石材事業という大きな柱を中心に事業を進めて参りました。しかし、時代と共に供養のあり方全般が大きく変化する中で、石材事業はしばらく前から斜陽のときを迎えていて、当社も以前から事業構造の転換をせざるを得ない状況になっていました。

幸いにも、14年前に取り組み始めた草むしりの事業が順調に育ちつつあります。今期からはこの草むしり事業も会

社の柱と定めて、本格的な取り組みを進めています。

私たちはこの地の誇りであり財産である「庵治石」の仕事、辞めるわけではありませんが、むしろ、石の技術を後代に残し製品を作り続けるためにも新事業を必要としています。今年はより一層、「石材事業」と「草むしり事業」を会社の二本柱として経営を展開して行きます。

嬉しいのはこの方針を、石の職人を含めた社員の皆さんが理解して協力してくれていることです。この草むしり事業は地域の皆さんに必要とされている仕事であること、ときに感謝の言葉を直接かけていただけることに、すべての職員が喜びを感じています。

年頭の大地震により、被災されている多くの方々の窮状を目の当たりにしています。地域の皆さまの暮らしが守られていてこそ、地域で事業を営むことができるという当たり前のことを日々感じて仕事をさせて頂いています。今年も全社で目標に向けて頑張参ります。中谷石材をより多くお願い申し上げます。

社長 中谷明生

仕事始めは宇佐神社の参拝から

昨年頂いたお守りを本堂横の一角にお返しをしてから、いざ本堂へ。
二礼二拍一礼で清々しい気持ちでの参拝でした。

令和六年一月五日、青空広がる快晴のもと、今年も宇佐神社に社員が集まってきました。私は今年で八年目の参加です。

思い起こせば初めての参拝ではまだ顔見知りも少なく不安がありました。インフルエンザで敢えなく欠席！翌年は、一年間ではありますが経験も増え声をかけていただき、新年のあいさつも元氣良くできていたなと参加できた日のことを懐かしく思い出します。

二年前は、私事ですが入退院を繰り返して皆さんに迷惑をかけてしまいましたが、社長はじめ社員の皆さんに励まされ、復帰を待っていてくれて、今年もこうして仲間として伝統の新年行事を迎えることができました。

私は、社員一同が揃って同じ方向を向き、目標を掲げ進んでいくこの中谷石材が好きです。ささやかですが、自分のでできることで盛り上げていきたいと思っています。

どうか今年も、中谷石材をより多くお願いいたします。

情報管理室 笹山千代



部署を超えて、明るい談笑をしながら新年の挨拶を交わしあう様子があちこちで見られました。



みんな穏やかな顔をしていたのが、祝詞が始まると背筋も伸び顔も引き締まった表情に変わります。人数制限のため、外にいる社員達もシーンとなり静かな感動がありました。





はじめまして。中谷石材大川工場の弓削祐貴です。よろしくお願いいたします。

私は1996年(平成8年)生まれで、今年で27才になります。九州宮崎県の出身で、小林市という食べ物も景色も人も素晴らしいところで生まれ、高校までをそこで過ごしました。子どもの頃は外遊びが好きで、中学ではバスケットボールに夢中でした。体を動かすのが好きな方だったのですが、高校生になると今度はパソコンとゲームが好きになり一転してインドアで遊ぶことが多かったです。楽しかったです。

大学進学のため岡山へ行くことになり、故郷の九州を離れました。大学では主に地質と植物の勉強をしていました。小学校のときからずっと理科が好きで、得意でした。地質の何が面白いかと聞かれても上手くは説明できないのですが、化石を採るのも好きですし、屋外に出て調査するのは楽しかったですね。その頃に採取した化石などは、今でも部屋に置いています。

なにしろ石が好きで 中谷石材に入社しました

2019年に大学を卒業してすぐに中谷石材に入社しました。石の仕事っていいなあと思い、決めました。入社時から大川工場に配属となり、最初は手動の磨きを担当していましたが、この仕事も好きでした。石が磨かれて綺麗になって輝いていくのを見るのは楽

しいです。なにしろ、石が好きですからね。

今は大口径の切削を担当しています。これは山から採掘されてきた庵治石を、最初に加工する仕事になります。この仕事は大ベテランの富田さんが長年担当されていたのですが、後継者を育てていかなければならないという事で、私が指名されました。

とにかく原石を製品にしていける最初の工程ですから、ここで石にあったキズとか(※カサネを見逃してしまうと、その後の工程に影響が出てしまいます。その見極めがとても重要になります。(※カサネとは、土砂が堆積することによってできた不純物の層のことです。)

正直この予測は、私にはまだ難しいです。切ってから分かるということが、今でもあります。石の切り方を間違えると、製品としての価値が下がったりまったく無くなってしまうこともあります。緊張もします。

石の切断は場合によっては1時間以上、ときには2時間近くかかることもあるので、その間は辛抱しかありません。最後になってキズが見つかったりすると、とても残念で仕方がありません。逆に上手くいったときは、やったー!という気持ちになります。

富田さんはこの予測を間違えるというところが、まずありません。豊富な経験と知識のたまものだと、いつも敬服します。あの境地までたどり着くにはまだまだ経験が足りませんが、富田さんが工場に来なくなっても大丈夫なよ

うに早くならないといけません。それが今の私の役割で、焦りも感じます。とにかくこの大先輩のように、中谷石材にとって無くてはならない人材にならないといけないと思っています。

大先輩のような 無くてはならない人材に

大学を出ていきなり職人の世界に飛び込んだわけですが、ここでは最初からきつりと丁寧に指導をしてくれました。パワハラみたいなことがまったく無い職場で、とても働きやすかったです。私もその社風を受け継いで、後輩や新たに入ってくる仲間には敬意を持って接する先輩でありたいと思っています。がら仕事に励んでいます。

大川工場 弓削祐貴





徹底した掃除と管理を！

高松久米山やすらぎの杜 高松市東山崎町1098

■お問い合わせ 電話 087-847-4939

当社は、草むしり事業部と連携しながら墓地公園内の環境整備を進めています。自然に恵まれた当やすらぎの杜は樹木からの枯葉が多く、初冬はその片付けに追われました。枯れた仏花の回収や通路の掃除など、努めて毎日清掃を行うことで霊園を清潔に保っています。気持ちよく参拝していただけますようにと、日々改良を続けております。



墓地の清掃



「お墓」のお悩み事のご相談にお応えしています。

久米山では専門のスタッフが常駐しているため、お客様の疑問点やお困りごとに対して即座に対応しています。

汚れが気になっていたお客様からご相談を頂き、お墓のクリーニングで解決した実例です。

お墓を大切に守り続けているお客様に寄り添い、お客様の声をヒアリングしながら管理を続けて参ります。

お墓のクリーニング作業を任せていただいている、配送課の中川です。

皆さまが、代々墓守をしていく中で一番のお困り事は、多分お墓の「汚れ」ではないでしょうか？

「苔や水垢が気になるけど、どうすればいいかわからない。」という方も多いのではないかと思います。

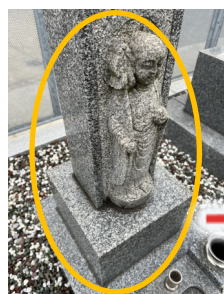
当社のクリーニングは、一つ一つのお墓の状態に合う道具を的確に判断して作業させて頂いています。お墓を移動させることなく現場でクリーニングを行うことも可能です。

仕上がりを見たお客様に喜んで頂ける事が、私たち一番の喜びです。これからも日々精進していきます。気になることがあれば、どうぞご相談下さい。

施工・配送・字彫課一同
リーダー 中川 拓



汚れていた箇所がスッキリ！



お地藏さんも本来の色に！



どちらも、久米山で
ご相談をいただいて
現場クリーニングをした
実例写真です。





「草むしり日記」 No.58

1月12日～14日。今年も草むしり事業部では、リーダー合宿を実施してこの1年の年間計画を作成しました。昨年から全社の協力体制の下で、『草むしり事業』は『石材事業』と並ぶ二本柱のひとつとしてより一層の取り組みを進めています。今年はさらにチームを増やし、昨年以上にお客様のお困りごとにお応えできる体制づくりを目指して参ります。

草むしりのリーダー合宿は

年に一度だけリーダーが現場を離れる時間を確保して、一年間の目標を設定するためのものです。

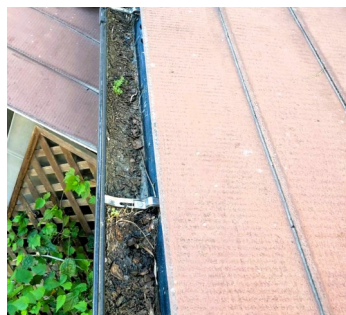
厳しいタイムスケジュールの中で緊張感を持ってとり組みますが、リーダー間の情報交換やコーヒープレイク、食事とともにする時間やアフターファイブの団欒などを通じて、有意義かつ、とても楽しい3日間でした。

ご依頼をいただくお客様のご要望にお応えするためには、これまで以上に全社体制での取り組みが不可欠となっています。世の中に必要とされている仕事を担っているということを改めて確認し、中谷石材の主要な事業の一翼を担う覚悟で取り組んで参ります。

草むしり事業部
代表 牟禮英則

❄️.....❄️.....❄️ 3月までの **冬季間** もお役に立てています！ ❄️.....❄️.....❄️

お庭やお墓の他に、**お家の小さな困りごと** もご相談下さい。



瓦修理



外構・エクステリア工事



お墓・墓地掃除



不用品片付け



抜根

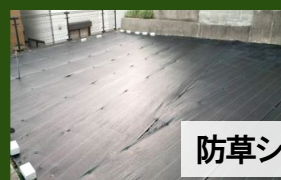


空き家管理

リーダー全員が集まる会は一年に一度。昼は寡黙に考え、夜は多めに語り合い、楽しい研修でした。



剪定



防草シート張り



お庭の困り事のご相談は...
草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144

今月の社長のコラム



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私はいつもの年と同じように、静かなお正月を過ごすことができました。今年も元旦から大きな地震に遭われた方が大勢いらっしゃいます。平穏に新しい年を迎えられたことに感謝しております。

年を取ると、お正月だからといってこれという予定もなく、例年通りに事を進めるだけです。毎年の事ですが年末には仏壇、神棚の清掃をして、妻が搗いてくれた餅を三宝に載せて御飾りをします。昔と違って、餅は杵と臼ではなくて餅つき機です。神棚、仏壇に供えた後は、各事業場に飾りつけに行きます。

これは先代がやっていたことを、見よう見まねで今も継続して続けています。今回の飾りつけは、孫と一緒に各事業場を廻りました。昨年からは御飾りに載せる橙(ダイダイ)も畑で出来るようになりましたので、自家製で贈っています。

橙は、昨年も沢山の実をつけてくれました。暖かい日が続いたせいなのか、黄色くなるのが心持ち早かったような気がします。



します。最近ではナマコの収穫が少なくなり、橙のポン酢でナマコを食べられなくなってきました。私の冬の楽しみがひとつ減りました。

三が日は例年と同じく、私がお雑煮をつくり家族で食べました。これも先代からのご習わしで、私も長いこと同じことを続けています。特別凝ったこともしませんので、特別な味がするわけでもありませんが、妻は喜んで食べてくれます(私はそう思っているのですが)。

子どものころは用意の手伝いをするのが、つらかったです。寒かったからです。青年時代も3日間のお雑煮の仕事があつたので、夜遅くまで遊びに行けませんでした。今はどこにも行くわけではなく、今年も駅伝を見ていました。

普通の毎日に感謝しながら

冒頭でも申し上げましたが、何事も無い普通の毎を送れるということはありがたいことです。これが皆さんのお手元に届くころにはどうなっているかわかりませんが、地震から1週間が経った今現在も救助作業は続いております。1人でも多くの方が救われることを願う毎日です。

また、2日の羽田での飛行機事故故では、JALの乗務員さんの対処に感動しました。日頃の訓練のたまものですね。

慣れてしまったこと、もう分かり切っていること、日々確認することの大切さを教示してくれました。私達も仕事の基本をおろそかにせず、一日一日を真剣に仕事にむかう所存です。本年も中谷石材をよろしくお願い申し上げます。

社長 中谷明生

社内報 大川、庵治工場 「つづやきパレット」 12月号より



寒くなる前にバイクで鷺羽山ハイランドに行ってきました。ここは一部を除き乗り放題です。パンジージャンプに挑戦しようと思気込んだのですが、今日は強風のため体重が70kg以上でないと利用できないと受付で言われました。

電子チケットを買って、せっかく来たので、他の乗り物を楽しむことにしました。大したことないと思っていたのですが、ジェットコースターなどは、回転がすごく予想以上の引力がかかり、バーに捕まるのに必死でした。塔の周りのイスに座って落下する「ターボドロップ」は、パンジージャンプより頂上が高く海拔200mもあるとか。有料のパンジーをする必要がないのはいかた。落下速度も早く、すぐすぎる見晴らしでしたし、ワニ肉も食べていい経験をしました。

もう古い遊園地ですが、行ったことない人は一度楽しんでみてください。

庵治工場 岸本久史



今月は、庵治工場で切削を担当している岸本さんの社内報デビュー文章のご紹介です。

社員同士の交流もままならなかったコロナ禍でしたし、無口な岸本さんは、とにかく物静かでおとなしいイメージでしたが…。なんと、パンジージャンプを楽しもうとしていたとはびっくり(ﾟдﾟ)。うーん、やっぱり、人って面白い！ですよ^^



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144



配送センターで
みんなを見守っています



屋島側からの本社工屋